

東京都自立支援協議会第一回本会議（平成27年5月29日開催）概要 全体会②

【グループ討議内容報告】

○ 第1グループ（高澤副会長報告）

- ・ 事業者としてはお金が足りないこと、一般相談に単価がついていないことが根本的問題。
- ・ 専門性については、当事者、行政、支援員、相談員も専門性を蓄積できない、異動等で引継いで繋がっていくことも難しい。
- ・ 医療関係との連携が難しい。
- ・ サービス自体が不足している。
- ・ 当事者の方から、役所や事業所が土日に開いていない、開けてほしいとの話有り。
- ・ 今回ワークシートを使うが、枠にはまらないことがある。
- ・ 精神の方はサービスに繋がっていない方がたくさんいる。
- ・ 高次脳機能障害の方のサービスが整っていない、フォローしきれていない。
- ・ 当事者の方の意見で、家族への支援について、家族にも問題がある場合、家族まよめてのケアプラン、支援が必要なのではないかとの意見があった。

○ 第2グループ（海老原副会長報告）

- ・ 基幹相談支援センターはどのような経緯で立ち上ってきたのか、どのような役割を持っているのか。立ち上がっていないところはなぜかについて、多くの意見があった。
- ・ 基幹相談支援センターの有無については、計画相談を作る事業所の力量に影響される。相談支援事業所がしっかりしていて、事業所同士の連携や、課題のやり取りが出来ており、自立支援協議会の中に相談部会もあって、そこでも協議が出来る自治体は、基幹相談支援センターはいらないのではという傾向があるのではないか。事業所の力によって、基幹相談支援センターの役割や立ち位置が変わってくるという印象を受けた。
- ・ 良いサービス利用等計画を作成するため、国の様式とは別に独自の書式を作っている自治体が多くある。こうした独自の書式をシェアしていくことはどうか。
- ・ 人材育成や計画の質を上げていくためには、同時に良い書式が必要。書式と計画の質は連携している。
- ・ 東京都の自立支援協議会は存在が薄い、協議会があることで、地域の協議会や相談支援にメリットがあるのかという意見あり。協議会が東京都独自の書式を作る等、地域に還元していけるようなことが出来たら良いと意見が出た。

（沖倉会長） 実際にワークシートを使ってみて、枠に収まらないコメントがたくさんある

ことをあらためて確認した。

これから事務局とともに整理し、皆さんのご意見のうち、書きにくい、枠からはみ出ると感じたところに重要なところがあるはずなので、次回はいろいろな方に意見をいただけるよう、枠取りや質問事項を考えたい。途中経過として、シートを事務局より送るので、ご意見をいただきたい。

【閉会】

事務局 第二回本会議は9月25日金曜日に開催する。